

第24回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

平成29年1月27日

今後の予定

2月

節分

3月

ひなまつり

議事録

開催日時：平成29年1月27日(金) 18:00～

出席者：地域包括センター・小石様，自治会長・目黒様，民生委員・大嶋様，
ご利用者ご家族
法人代表・斎藤先生，法人総務・物江，看護小規模管理者・小林

1 斎藤先生より

・看護小規模多機能は、一人暮らしでも認知症でも住み慣れた地域で過ごせるように、またがん終末期でも退院して在宅復帰し住み慣れた地域で過ごせるよう支援していきます。そこにプラス、高齢者だけでなく支援が必要な地域の方には、地域の資源と組んで、子ども、障がい者、生活困窮者、全ての方に対して支援することを目標とし、集まって協議する方針です。今日はサービス評価もあります。相談窓口となり、地域の困りごとや問題点，課題もこの場を出してどこかにつなぐ、という役割があります。

2、看護小規模多機能ご利用者現況報告

- ・登録利用者数 20名 短期利用1名（H27年の法改正で登録者以外の方も緊急的に泊り可能となっています。）
- ・通い11～14名，泊り6～8名 ・訪問1～3名 ・訪問看護1～2名

議事録

3、新規ご利用者紹介

- ・退院後、自宅で一人暮らしを続ける事を希望され、訪問の利用を中心に利用されている方。その方がどうしたいかを尊重し、自宅中心の支援している。訪問診療、訪問薬局も入る。
- ・夫と二人暮らしで、介護者の夫が入院する際、泊りを利用された方。何かない限り自宅が良いと希望され、夫退院後は自宅で過ごしている。訪問看護と訪問診療が入っている。
- ・小規模多機能は制度ができた当初は通い中心とされていましたが、このように希望に沿った支援がこれから増えていくと思います。

4、看取りの報告

○I・M様

5、活動報告

○行事、日頃の様子を広報誌、パワーポイントで写真を見て頂きながら報告する。

- ・12月 クリスマス会、お誕生会、忘年会
家族交流会・・・カレーを作り、皆さんで食べました。
- ・1月新年会、お誕生会

議事録

- 桜ヶ丘小学校
昨年引き続き、桜ヶ丘小学校3年生1クラスの子ども達が交流に来て下さいました。歌を歌ってくれたり折り紙をし交流しました。お手紙を書いて渡して下さい、最後は一人ひとりと握手して帰りました。～歌の動画～
子ども達は素直に、自然に受け入れて下さり、皆さん大変喜ばれていました。
- 今後地域交流で、るぴなすからも道に行けると良いうのだが。交通安全週間の時は、通学路に 立つが普段は出ていない。
- 桜ヶ丘小学校には地域コーディネーターの豊島さんがいるので、地域との交流ができる。自治会長は小学校で、コマ回し等昔の遊びを教えた。給食の試食会もあった。警察からも交通、防犯の話をしたり、文科省は国としてのいのちの教育を始める方針。

議事録

6 サービス評価

○自己評価

スタッフ自己評価をスタッフ全員で行い、ミーティングにて意見交換を行った。事業所自己評価を作成し、運営推進委員・ご利用者ご家族へ事前に配布し、意見等の依頼をした。

○外部評価

事業所自己評価の内容を説明し、参加者の方に意見をいただく。欠席者の方から事前に頂いた意見も発表する。項目1～21まで行い、次回残りの評価を行い公表する。

目黒様：項目は国から出ているものでしょうか。学校の評価もそうであったが評価が細かいですね。

斎藤先生：項目は厚労省から出ているもので、今後見直しがあるかも知れませんが、今までは外部の評価機関が行っていたものが、運営推進会議を通して外部評価とする自分たちで行う方法に変わりました。現在、定期巡回と小規模多機能がこの方法となっています。

議事録

7、地域より

- ・40代の精神障害の方で、幻覚があり夜中にインターホンを押すので困っている、警察を呼んだこともあり地域の方が迷惑しているという問題がある。自治体で見るのは大変。どうしたらよいだろうか。

→南地域保健センターに相談してみてもいいでしょうか。

- ・地域の方より、斎藤内科クリニックの待ち時間が長く、また急に診てもらいたくても診てもらえないと話がありました。

→斎藤先生：この話は最初からあることで、では歩いて来れない方は誰が診るのか、自分が動けなくなったら？近所の方へは対応しています。

- ・目黒様：地域の茶の間は、地域活動と一体になった素晴らしいものだと思いますので、これからもぜひ続けて欲しいです。



ありがとうございました(*^_^*)